

オリンパス展示ブースでは、新製品をはじめ、診断から治療までのフルラインアップを展示しております。

消化管診断

NBIの登場から10年、ELITEシリーズの最新のラインアップをご覧ください。ハンズオンコーナーにて各種スコープをご体感ください。



運用支援

内視鏡業務支援システムの新ラインアップ Solemio QUEVをご体感いただけます。加えて、ご施設の状況を伺い、効率的な検査運用をご提案いたします。



胃がん検診

内視鏡による胃がん検診の導入を検討されている自治体様・医師会様へ、精度管理を中心に運用方法のご紹介をいたします。



消化管治療

消化管治療にフォーカスし、新製品の消化管用バルーンダイレクターをはじめ、送液機能付きESDナイフ、新型局注針の良さを什器を用いてご体感いただけます。



ERCP・EUS・RFA

術後再建腸管ERCP用バルーン内視鏡の他、超音波穿刺針やRFAシステムまで、診断から治療を網羅した肝胆膵領域の最新ラインアップをご体感いただけます。

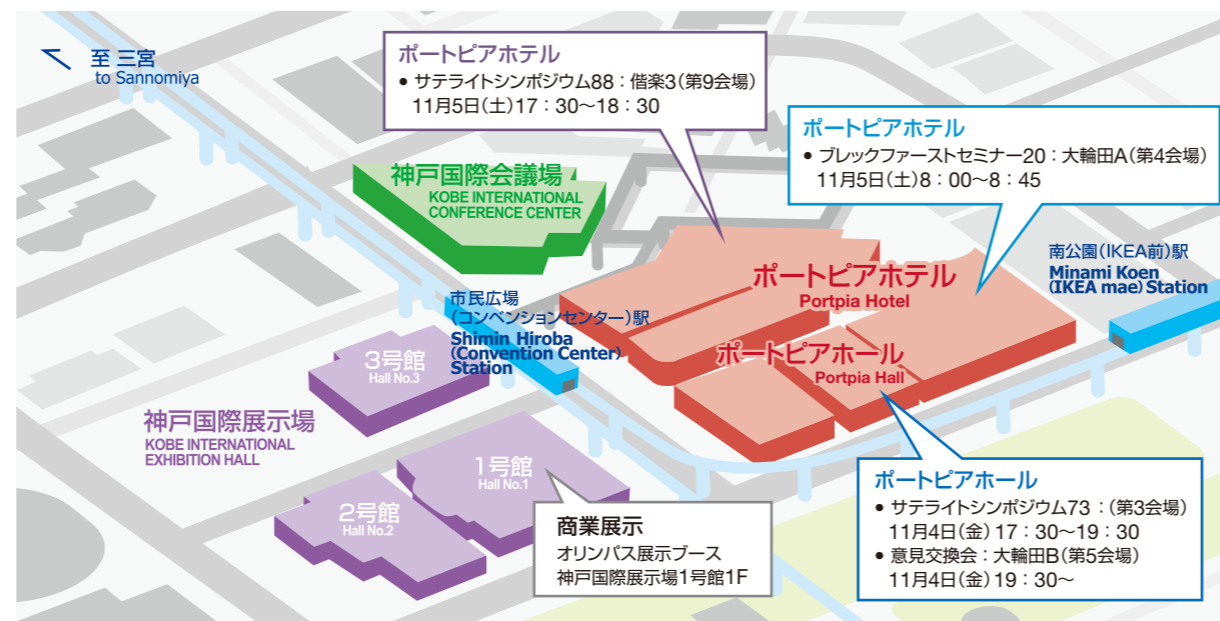


PEG

non-Guidewireでのシンプルな造設手技、造設・交換を通じてのシースによる安全なボタン挿入をご体感いただけます。



会場周辺地図



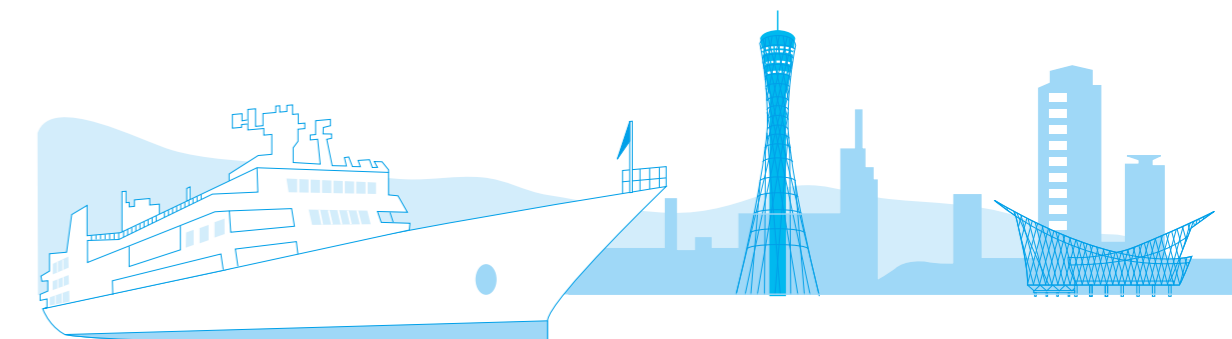
イベントスケジュール

11/4 (金)	17:30	サテライトシンポジウム73	会場：ポートピアホール(第3会場)
	19:30	A Decade of NBI ~ 10年のあゆみと世界への普及 ~ 【司会】井上 晴洋 先生 (昭和大江東豊洲病院 消化器センター) 【司会】斎藤 豊 先生 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科) 【特別発言】田尻 久雄 先生 (東京慈恵会医大 先進内視鏡治療研究講座) 【演者】佐野 寧 先生 (佐野病院 消化器センター) 【演者】A/Prof. Rajvinder Singh (Department of Gastroenterology, Lyell McEwin Hospital & The University of Adelaide, Australia) 【演者】武藤 学 先生 (京都大大学院 腫瘍薬物治療学) 【演者】Prof. Philip Wai-yan Chiu (Department of Surgery, The Chinese University of Hong Kong, China) 【演者】上堂 文也 先生 (大阪府立成人病センター 消化管内科)	
	19:30	サテライトシンポジウム意見交換会	ポートピアホテル 大輪田B(第5会場)
11/5 (土)	8:00	ブレックファーストセミナー20	会場：ポートピアホテル 大輪田A(第4会場)
	8:45	明日から使える、胃がん検診における内視鏡観察方法 【司会】河合 隆 先生 (東京医大病院 内視鏡センター) 【演者】川田 研郎 先生 (東京医歯大附属病院 消化管外科学) 【演者】河合 隆 先生 (東京医大病院 内視鏡センター)	
11/5 (土)	17:30	サテライトシンポジウム88	会場：ポートピアホテル 借案3(第9会場)
	18:30	Stenting Strategy ~ レーザーカットステントの可能性を探る ~ 【司会】瀧沼 朗生 先生 (手稲溪仁会病院 消化器病センター) 【演者】木暮 宏史 先生 (東京大附属病院・消化器内科) 【演者】伊藤 啓 先生 (仙台市医療センター仙台オープン病院・消化器内科)	

オリンパス展示ブース 関連イベントのご案内

2016.11.3(木)~5(土)

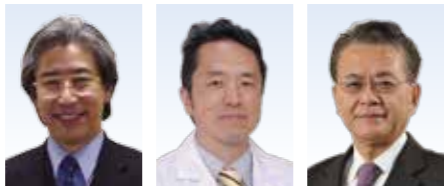
会場：神戸国際展示場・ポートピアホテル・ポートピアホール



サテライトシンポジウム73

A Decade of NBI ～10年のあゆみと世界への普及～

2006年SPECTRUM発売、2012年にELITEを発売し、今年NBI登場から10年が経過しました。この間、各臓器で様々なエビデンスが構築され、世界へもインパクトを与えています。各領域のエキスパートの先生方にお集まりいただき、NBI10年の歴史と最新学術動向、また世界への普及に関して、お話しいただきます。



司会 井上 晴洋 先生 齋藤 豊 先生 特別発言 田尻 久雄 先生

日時 2016年11月4日(金) 17:30～19:30

会場 ポートピアホール(第3会場)

司会 昭和大江東豊洲病院 消化器センター

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科

特別発言 東京慈恵会医大 先進内視鏡治療研究講座

井上 晴洋 先生

齋藤 豊 先生

田尻 久雄 先生



同時通訳あり



NBI開発とエビデンス構築までの道のり

演者 佐野病院 消化器センター 佐野 寧 先生

NBI開発から関わっていただいた佐野先生に、開発当初から、エビデンス構築までの苦労話、体験談をお話しいただきます。NBI開発当初に抱いた期待と実際。またNBI発売から10年を経て構築されてきたエビデンスとその変化について、最新の医学情報を踏まえお話しいただきます。



NBI in the colon: A western perspective

演者 Department of Gastroenterology, Lyell McEwin Hospital & The University of Adelaide, Australia A/Prof. Rajvinder Singh

オーストラリアでの大腸領域NBIの普及に関してお話しいたします。拡大内視鏡やDualFocus、NICE分類、診断学の現状、またNICE分類の限界とJNETに対する期待など、Rajvinder先生が感じる大腸M-NBI診断に関する必要性について、貴重なお話をお聞きかせいただきます。



NBIの登場による咽喉食道領域における内視鏡診断の革新

演者 京都大大学院 腫瘍薬物治療学 武藤 学 先生

NBI登場により咽喉・食道領域の内視鏡検査にもたらされた変化・革新をお話しいただきます。NBIが開発されるまでの咽喉・食道領域の内視鏡検査の実態と現状、またエビデンス構築における苦労話も含めた内容です。最新の知見から臨床家が注意すべきポイントなどもレクチャーいただきます。



NBI for Upper GI cancer from research to education

演者 Department of Surgery, The Chinese University of Hong Kong, China Prof. Philip Wai-yan Chiu

香港におけるNBI上部内視鏡観察についてお話しいたします。特に、アジアで組織されたNBI診断の普及や、教育体ANBIG(Asia NBI Group)に関して、会長であるPhilip先生に取組や成果、今後の発展について、貴重なお話をお聞かせいただきます。



胃におけるNBIのエビデンスと今後の可能性

演者 大阪府立成人病センター 消化器内科 上堂 文也 先生

胃におけるNBIの最新知見と今後の可能性についてお話しいたします。質的診断の最新エビデンス解説や、スクリーニング領域における可能性、現在取組されているスタディ情報など、今後の胃領域の動向とIEEに対する期待や限界に関してお話しいたします。

サテライトシンポジウム意見交換会のご案内

日時：11月4日(金)サテライトシンポジウム終了後
会場：ポートピアホテル 大輪田B(第5会場)

サテライトシンポジウム終了後に意見交換会の場をご用意いたしましたので、ぜひご参加ください。先生方のご来場を心よりお待ちしております。

ブレックファーストセミナー20

明日から使える、 胃がん検診における内視鏡観察方法

対策型胃がん検診で内視鏡が推奨されたことで、内視鏡検診の導入を検討する自治体が増加してきています。本セミナーでは、今後検診の受け入れを検討しているご施設や日頃スクリーニング検査をされている先生方を対象に、内視鏡検診で求められる質の高い検査方法の実際についてご講演いただきます。

日時 2016年11月5日(土) 8:00～8:45

会場 ポートピアホテル 大輪田A(第4会場)

司会 東京医大病院 内視鏡センター 河合 隆 先生



胃がん検診時代の口腔～咽喉頭～食道～トータルケア

演者 東京医歯大附属病院 消化管外科学 川田 研郎 先生

内視鏡検診では、X線検査で観察が難しかった口腔・咽喉頭・食道が観察可能になります。内視鏡検診時に、どのような対象に、どこまで観察すべきか?また、どのように観察すべきか?川田先生には、経鼻内視鏡を用いた、食道/頭頸部癌ハイリスク例を中心とした観察のポイントをご講演いただきます。



経鼻内視鏡とNBIを用いた胃スクリーニングの実際

演者 東京医大病院 内視鏡センター 河合 隆 先生

対策型胃がん内視鏡検診で死亡率減少を達成するには、今まで以上に質の高い検査を行うことが求められています。精度の高い検査方法のコツについて、NBIを用いたスクリーニングの実際を河合先生にご講演いただきます。

MEDICAL TOWN

医療従事者のみなさま向け会員制サイト メディカルタウン

メディカルタウン クリニック向けサイト

症例動画や学会レポートなどの最新情報

手技・診断サポート

製品を長く安心してご使用いただくための情報

機器取扱情報

患者さまに安心して検査を受けていただくために

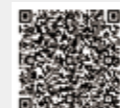
患者さまサポート

内視鏡手技や診断の「今」がわかる、豊富なコンテンツ。
患者さま向けのコンテンツも充実し、クリニックの皆さまがトータルにご活用いただけるサイトです。

www.medicaltown.net

メディカルタウン

検索



サテライトシンポジウム88

Stenting Strategy

～レーザーカットステントの可能性を探る～

近年、内視鏡的胆道ドレナージ術は多様な手技・ステントが存在し、病態に応じた適切なステントの選択が重要と考えられます。本シンポジウムでは、ステント留置に関するストラテジーを中心に、特にレーザーカットステントの位置付けについて、エキスパートの先生にご講演いただきます。



瀧沼 朗生 先生

日時 2016年11月5日(土) 17:30～18:30

会場 ポートピアホテル 偕楽3(第9会場)

司会 手稲溪仁会病院 消化器病センター 瀧沼 朗生 先生



ドレナージのベーシックストラテジー～病態に応じたベストステントングを目指して～

演者 東京大附属病院 消化器内科 木暮 宏史 先生

胆道狭窄に対するStentingには様々な治療戦略が求められておりますが、木暮先生には、胆道ドレナージの基本的なストラテジーを解説いただき、プラスチックステントとメタリックステントの使い分けや、病態に応じたステント選択など、手技の実際についてご講演いただきます。



細径レーザーカットステントがもたらす胆道ドレナージの技術革新

演者 仙台市医療センター仙台オープン病院 消化器内科 伊藤 啓 先生

非切除悪性遠位胆管閉塞では、長い開存期間が期待できるCMSが広く用いられています。伊藤先生には、現在市販されているCMSの中で、shortning率の低いレーザーカットタイプの特徴と実臨床での活用のコツや注意点についてご講演いただきます。

質の高い症例画像を
いつでも
あなたの手もとに

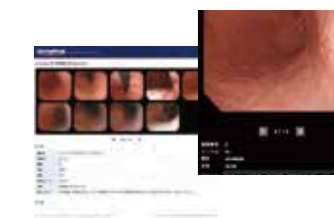
EndoAtlasは、多くの先生方のご協力により、質の高い最新の内視鏡症例を閲覧できる環境をご提供する事で、内視鏡診断学の普及・発展に貢献する事を目指しています。内視鏡画像を中心とした症例集機能と、画像から診断を類推する診断トレーナー機能から構成される「エンドアトラス」。新しいWEB内視鏡症例集を、ぜひご活用ください。

WEB内視鏡症例集

EndoAtlas

エンドアトラス

検索



www.medicaltown.net/endoatlas/